

不思議の国より (No.11) (2026.9)
「神戸市のやり方」 Alice(西東京)

文化ホールを拠点とする神戸市室内管弦楽団は、補助金カットで存続危機にあると友人が伝えてきた。20万都市西東京も問題はあるが、150万政令都市神戸ならもっとできるのに！と思うことが多々ある。

20万と言うと西区の人口に匹敵するが図書館は6か所と図書サービスは5か所、(地域の図書館を潰すと言った清瀬市市長は共産党原田市長にとってかわられた)。662席と250席を持つ芸術ホールを持ち、全国に先駆け全小中の給食費完全無償化、18歳までの医療費無償化、補聴器、エアコン補助、医療費補助、地域「はなバス」の運行、公民館など施設無料開放、講演補助等々神戸市が見習うべき点が多々ある。

江戸時代に宿場町として栄え、街道に神社仏閣が立ち並び、由緒ある如意輪寺では毎年8月6日と9日に「平和の鐘撞き」があるというので参加した。住職のお話や原爆の詩の朗読のあと、「二度と再び戦争をしない」と祈りながら鐘を撞く。



その後上野の「平和美術展」鑑賞、帰りに(正岡)子規庵を訪ねたが、夏休み中で、その前の「書道博物館」を訪れたが中国・日本の古文書は迫力満載だった。9月には二科展に通った小学校の同級生の絵を見にまだまだ上野通いが続きそうだ。